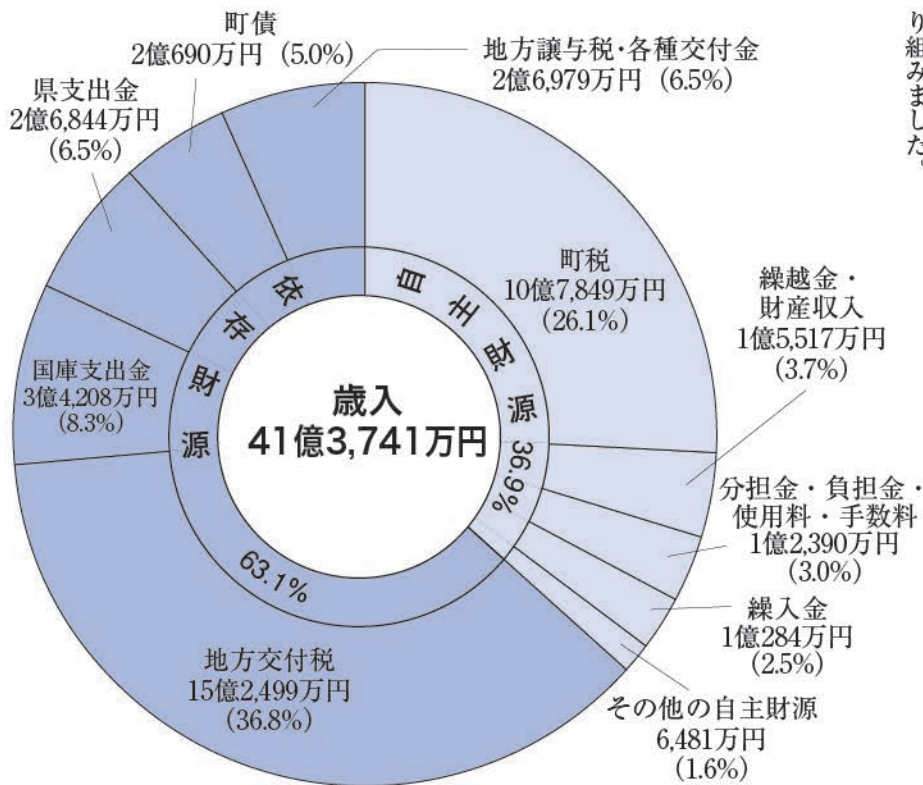


平成30年度 決算報告

平成30年度は、①楽しく子育て・元気で長生きができるまちづくり、②豊かな心と多彩な文化を育むまちづくり、③豊かな自然と産業が息づくまちづくり、④安全で快適な生活が実感できるまちづくり、⑤笑顔が行き交う共助と自立のまちづくりの5つを重点施策に掲げ、第5次皆野町総合振興計画の「住んでみたいまち、住み続けたいまち、ときめきの皆野」の実現に向けて取り組みました。



一般会計決算額

歳入	41億3,741万円
歳出	39億5,440万円
翌年度への繰越額	1億3,609万円

歳入

歳出

歳入全体では、前年度と比べて1,105万円の増でした。

町の主たる自主財源である町税は、法人町民税や町たばこ税が減収となった一方で、個人住民税が813万円の増、固定資産税が643万円の増となり、全税目では646万円の増となりました。

最も多くの割合を占める普通交付税は、人口減少等の影響を受け、前年度から3,037万円の減となりました。特別交付税の減も合わせ、地方交付税全体では3,184万円の減となりました。

また、基金(町の貯金)を活用すべく、公共施設整備基金から3,560万円、財政調整基金から4,893万円、その他の基金から570万円を取り崩し、繰り入れを行いました。

①楽しく子育て・元気で長生きができるまちづくり

従来から引き続き、こどもの医療費無料化(18歳まで対象)のため、町から2,966万円を支出しました。また、子育て世帯定住促進奨励補助金として、2,215万円を交付しました。

不妊治療支援では、特定不妊治療に対する助成額を拡大し、合計177万円を支出しました。このほか、お出かけタクシー事業(170万円)や各種健診など、充実した事業を実施できました。

②豊かな心と多彩な文化を育むまちづくり

児童・生徒の学力向上やグローバル教育に力を入れました。

新たに、小学校2・3年生向けに「放課後子供教室」を開始しました(543万円)。また、従来に引き続き、「えいごスポーツフェスティバル」や中学生修学旅行へのALT同行なども実施し、グローバル教育全体では484万円を支出しました。

③豊かな自然と産業が息づくまちづくり

皆野駅前で開催された「皆野横丁」実施の補助金として、180万円を支出しました。また、有害鳥獣防護柵設置費補助金や奨励作物補助金など、農業振興の補助金として、計137万円を支出しました。

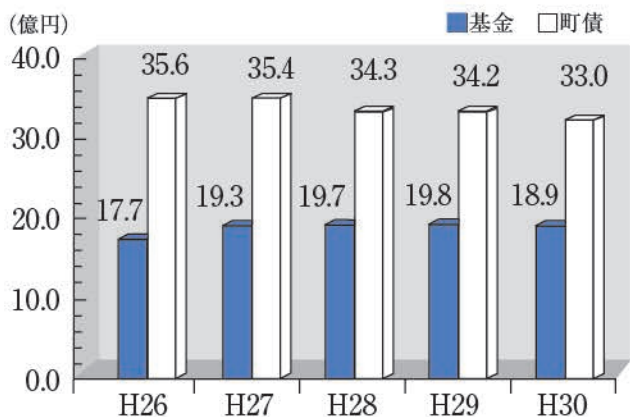
④安全で快適な生活が実感できるまちづくり

各地区で町道の改良工事を実施し、生活道路の拡幅・補修を進めました。道路・橋りょう費の合計は2億3,310万円でした。

⑤笑顔が行き交う共助と自立のまちづくり

秩父音頭まつり第50回の節目に併せ、役場周辺とお祭り広場の舗装補修工事を実施しました(2,410万円)。また、旧日野沢小学校跡地を「出会い・ふれあいの場」として整備するため、老朽化した校舎を解体しました(2,626万円)。

基金と町債残高



基金は貯金を、町債は借金を示します。平成30年度は、平成29年度と比べ基金・町債ともに減となりました。